

「臨床腫瘍薬学」訂正のお知らせ

ご購入いただきました『臨床腫瘍薬学』（2019年3月発行 第1刷）におきまして、以下の誤りがございました。
ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。 2019/4/18

頁	355	(4) CDDP+VNR放射線併用療法
誤		
抗がん薬	day	
シスプラチン 40mg/m ² /日 点滴静注(2時間以上)		
ビンレルビン 20mg/m ² /日 静注(10分以内)		
胸部放射線 60Gy/30回 2Gy/回 1日1回		
⇒		
正		
抗がん薬	day	
シスプラチン 80mg/m ² /日 点滴静注(2時間以上)		
ビンレルビン 20mg/m ² /日 静注(10分以内)		
胸部放射線 60Gy/30回 2Gy/回 1日1回		

頁	364	⑧アテゾリズマブ+CBDCA+PTX+Bev療法(左側の表)
誤		
抗がん薬	day	
アテゾリズマブ 1,200mg/日 点滴静注(初回:60分, 2回目以降30分)		
カルボプラチン AUC=6 点滴静注(30分以上)		
パクリタキセル 200mg/m ² /日 点滴静注(10分)		
ペバシズマブ 15mg/kg/日 点滴静注(初回:90分, 2回目:60分, 3回目以降:30分)		
⇒		
正		
抗がん薬	day	
アテゾリズマブ 1,200mg/日 点滴静注(初回:60分, 2回目以降30分)		
カルボプラチン AUC=6 点滴静注(30分以上)		
パクリタキセル 200mg/m ² /日 点滴静注(3時間)		
ペバシズマブ 15mg/kg/日 点滴静注(初回:90分, 2回目:60分, 3回目以降:30分)		

頁	364	⑧アテゾリズマブ+CBDCA+PTX+Bev療法(右側の表)
誤		
抗がん薬	day	
ベムプロリズマブ 200mg/日 点滴静注(30分)		
ペバシズマブ 15mg/kg/日 点滴静注(初回:90分, 2回目:60分, 3回目以降:30分)		
⇒		
正		
抗がん薬	day	
アテゾリズマブ 1,200mg/日 点滴静注(2回目以降:30分)		
ペバシズマブ 15mg/kg/日 点滴静注(3回目以降:30分)		

頁	370	(2)ベムプロリズマブ+CBDCA+nabPTX療法(左側の表)
誤		
抗がん薬	day	
ベムプロリズマブ 200mg/日 点滴静注(30分)		
カルボプラチン AUC=5 点滴静注(60分)		
パクリタキセル(アルブミン懸濁型) 100mg/m ² /日 点滴静注(10分)		
⇒		
正		
抗がん薬	day	
ベムプロリズマブ 200mg/日 点滴静注(30分)		
カルボプラチン AUC=5 点滴静注(60分)		
パクリタキセル(アルブミン懸濁型) 100mg/m ² /日 点滴静注(30分)		

頁	398	③SOX療法
誤		
抗がん薬	day	
テガフル・ギメラシル・オテラシルカルウム BSA 1.25m ² 未満:40mg/回, 1.25~1.5m ² 未満:50mg/回, 1.5m ² 以上:60mg/回 経口 1日2回		
オキサリプラチン 100mgもしくは130mg/m ² /日 点滴静注(2時間)		
⇒		
正		
抗がん薬	day	
テガフル・ギメラシル・オテラシルカルウム BSA 1.25m ² 未満:40mg/回, 1.25~1.5m ² 未満:50mg/回, 1.5m ² 以上:60mg/回 経口 1日2回(day1夕~day15朝)		
オキサリプラチン 100mgもしくは130mg/m ² /日 点滴静注(2時間)		

頁	399	②SP+トラスツマブ療法
---	-----	--------------

誤

3週ごと

抗がん薬	day	1	2~14	15~21
テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム BSA 1.25m ² 未満:40mg/回, 1.25~1.5m ² 未満:50mg/回, 1.5m ² 以上:60mg/回 経口 1日2回			→	
シスプラチン 60mg/m ² /日 点滴静注(2時間)		↓		
トラスツマブ 点滴静注 初回:8mg/kg/日, 2回目を以降:6mg/kg/日 (初回90分以上, 2回目を以降30分まで短縮可)		↓		
				休薬

注:BSA(Body Sureface Area), 体表面積

正

SP療法:5週ごと

抗がん薬	day	1~7	8	9~21	22~35
テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム BSA 1.25m ² 未満:40mg/回, 1.25~1.5m ² 未満:50mg/回, 1.5m ² 以上:60mg/回 経口 1日2回			→		
シスプラチン 60mg/m ² /日 点滴静注(2時間)			↓		
					休薬

注:BSA(Body Sureface Area), 体表面積

トラスツマブ:3週ごと

抗がん薬	day	1	2~21
トラスツマブ 点滴静注 初回:8mg/kg/日, 2回目を以降:6mg/kg/日 (初回90分以上, 2回目を以降30分まで短縮可)		↓	
			休薬

+

頁	402	S-1+DTX療法
---	-----	-----------

誤

抗がん薬	day
テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム BSA 1.25m ² 未満:40mg/回, 1.25~1.5m ² 未満:50mg/回, 1.5m ² 以上:60mg/回 経口 1日2回	
ドセタキセル 40mg/m ² /日 静注(1時間)	



正

抗がん薬	day
テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム BSA 1.25m ² 未満:40mg/回, 1.25~1.5m ² 未満:50mg/回, 1.5m ² 以上:60mg/回 経口 1日2回(day1夕~day15朝)	
ドセタキセル 40mg/m ² /日 静注(1時間)	

頁	432	②オラパリブ
---	-----	--------

誤

抗がん薬	day
オラ リ ブ 300mg/ 日 経口 1日2回	



正

抗がん薬	day
オラ パ リブ 300mg/ 回 経口 1日2回	

頁 476 (2)ニボルマブ+イビリムマブ併用療法(下側の表)

誤	
抗がん薬	day
ニボルマブ 240mg/回	
点滴静注(30分以上)	



正	
抗がん薬	day
ニボルマブ 240mg/日	
点滴静注(30分以上)	

頁 492 表3 注釈 上から2行目

誤
LIVESTRONG Foundation's **Q**ertile Hope Program(www.livestrong.org/fertilehope)



正
LIVESTRONG Foundation's **F**ertile Hope Program(www.livestrong.org/fertilehope)

頁 492 表3 注釈 下から2行目

誤
※: Levine J, et al: Fertility preservation in adolescents and young adults with cancer. J Clin Oncol. 28(32):4831-4841, 2010. より改変



正
Adapted from Levine J, et al: J Clin Oncol 28 (32), 2010: 4831-4841. © 2010 American Society of Clinical Oncology. All rights reserved. Readers are encouraged to read the entire article for the correct context at jco.ascopubs.org.

頁 499 (3)ダブルフェニブ・トラメチニブ併用療法 レジメン表 注釈

誤
注: **維持療法**は12カ月間まで



正
注: **術後補助療法**は12カ月間まで

頁 500 (2)ニボルマブ ①ニボルマブ単独療法 レジメン表 注釈

誤
注: **維持療法**は12カ月間まで



正
注: **術後補助療法**は12カ月間まで

頁 501 (3)ベムプロリスマブ レジメン表 注釈

誤
注: **維持療法**は12カ月間まで



正
注: **術後補助療法**は12カ月間まで

頁	511	Sanctuary therapy:10~11週
---	-----	--------------------------

誤		day				
抗がん薬		1	2	8	9	12~14
メトレキサート 12mg/m ² /日 点滴静注(24時間)div(24h)		↓		↓		
it(triple) メトレキサート 12mg, シタラビン 30mg, ヒドロコルチゾン 25mg 髄腔内投与(it)		↓	↓	↓		



正		day				
抗がん薬		1	2	8	9	10~14
メトレキサート 3g/m ² /日 点滴静注(24時間)div(24h)		↓		↓		
it(triple) メトレキサート 12mg, シタラビン 30mg, ヒドロコルチゾン 25mg 髄腔内投与(it)			↓		↓	

頁	513	Hyper-CVAD/MA+Imatinib療法(Ph陽性ALLに対する代表的な化学療法レジメン)(右側の表)
---	-----	---

誤		day				
抗がん薬		1	2	3	4~13	14
メトレキサート 1g/m ² /回 点滴静注(2時間)		↓				
シタラビン 3g/m ² 点滴静注(2時間)			↓	↓		
イマチニブ 400mg/日 経口		→				



正		day				
抗がん薬		1	2	3	4~13	14
メトレキサート 1g/m ² /回 点滴静注(24時間)		↓				
シタラビン 3g/m ² /回 点滴静注(2時間) 1日2回			↓	↓		
イマチニブ 400mg/日 経口		→				

頁	523	(2)CAG療法(AraC皮下投与)
---	-----	--------------------

誤		day
シタラビン 10mg/m ² /回 皮下投与 1日2回		
アクリルビシン 14mg/m ² /日 点滴静注(30分)		
G-CSF製剤(顆粒球コロニー刺激因子) 200 μg/m ² /日 皮下投与		



正		day
シタラビン 10mg/m ² /回 皮下投与 1日2回		
アクリルビシン 14mg/m ² /日 点滴静注(30分)		
G-CSF製剤(顆粒球コロニー刺激因子) 200 μg/m ² /日 皮下投与		

頁 544 1)慢性期 ダサチニブ単独療法 レジメン表 注釈

誤

注:140mg/日(400mg, 1日2回)まで増量可



正

注:140mg/日まで増量可

(400mg, 1日2回)を削除

頁 544 1)慢性期 ダサチニブ単独療法 レジメン表下の本文

誤

・140mg/日(400mg, 1日2回)まで増量可



正

・140mg/日まで増量可

(400mg, 1日2回)を削除

頁 554 4)維持療法 レナリドミド維持療法 レジメン表内

誤

22~28



正

22~28

休薬

休薬

頁 555 ②BLd Lite療法(導入化学療法:上側の表)

誤

抗がん薬	day	1	2	8	9	15	16	21	22	23	33~42
ボルテゾミブ 1.3mg/m ² /日 皮下注射		↓		↓		↓		↓	↓		
レナリドミド 15mg/日 経口		→									休薬
デキサメタゾン 20mg/日 経口		→	→	→	→	→			→		



正

抗がん薬	day	1	2	8	9	15	16	21	22	23	24~35
ボルテゾミブ 1.3mg/m ² /日 皮下注射		↓		↓		↓			↓		
レナリドミド 15mg/日 経口		→									休薬
デキサメタゾン 20mg/日 経口		→	→	→	→	→			→		

day21の↓(矢印)削除

頁 555 ②BLd Lite療法(地固め療法:下側の表)

誤				
抗がん薬	day	1	15	22 23~35
ボルテゾミブ 1.3mg/m ² /日 皮下注射		↓	↓	↓
レナリドミド 15mg/日 経口		→		
				休業



正				
抗がん薬	day	1	15	21 22~28
ボルテゾミブ 1.3mg/m ² /日 皮下注射		↓	↓	
レナリドミド 15mg/日 経口		→		
				休業

day21の↓(矢印)削除

頁 556 ①MPB療法 本文 1行目

誤
BMP療法は1~9コースは6週間ごとであるが…



正
MPB療法は1~9コースは6週間ごとであるが…

頁 556 ①MPB療法 本文 3~4行目

誤
…治療強度を落としたmodified MPY(PETHEMA法)を用いることがある。



正
…治療強度を落としたmodified MPB(PETHEMA法)を用いることがある。

誤	
抗がん薬	day
リツキシマブ 375mg/m ² /日	
点滴静注	
イホスファミド 2g/m ² /日	
点滴静注	
メスナ 400mg/m ² /日	
点滴静注(イホスファミドと同時投与)	
カルボプラチン AUC:5	
点滴静注	
エトポシド 75mg/m ² /日	
点滴静注	
メスナ 400mg/m ² /日	
点滴静注(イホスファミド投与4時間後)	
メスナ 400mg/m ² /日	
点滴静注(イホスファミド投与8時間後)	



正	
抗がん薬	day
リツキシマブ 375mg/m ² /日	
点滴静注	
イホスファミド 2g/m ² /日	
点滴静注	
メスナ 400mg/m ² /回	
点滴静注(イホスファミドと同時投与)	
カルボプラチン AUC 5	
点滴静注	
エトポシド 75mg/m ² /日	
点滴静注	
メスナ 400mg/m ² /回	
点滴静注(イホスファミド投与4時間後)	
メスナ 400mg/m ² /回	
点滴静注(イホスファミド投与8時間後)	

誤	
注:シクロホスファミドに合わせてメスナを投与	



正	
注1:シクロホスファミドに合わせてメスナを投与	
注2:ドキシソルピシンが375g/m ² になったとき、アクチノマイシンD1.25mg/m ² へ変更	

誤

注1:シクロホスファミドに合わせてメスナを投与

注2:ドキシソルピジンが $375\text{g}/\text{m}^2$ になったとき、**アクチノマイシンDを $1.25\text{g}/\text{m}^2$ へ変更**

注3:日本の添付文書では、**体重30kg以上の場合アクチノマイシンDのMAX2~3g**

注4:文献によってスケジュールの訳に相違がある



正

注1:シクロホスファミドに合わせてメスナを投与

注2:日本の添付文書では、**アクチノマイシンDと他の抗悪性腫瘍薬との併用における用法・用量は、1日1回 $1.25\sim 1.35\text{mg}/\text{m}^2$ (体重30kg以上:1日最大投与量 2.3mg)または $0.045\text{mg}/\text{kg}$ (体重30kg未満)を静注または点滴静注とする**

注3:文献によってスケジュールの訳に相違がある



誤の注2の内容を削除。誤の注3の内容を修正し、注4とともに番号繰り上げ

誤

抗がん薬	day
エリブリン	$1.4\text{g}/\text{m}^2/\text{日}$
静注(2~5分)	



正

抗がん薬	day
エリブリン	$1.4\text{mg}/\text{m}^2/\text{日}$
静注(2~5分)	